

令和2年12月 報道機関との定例懇談会 要旨

□ 情報提供項目

新型コロナウイルス感染症の対応状況、日本海溝・千島海溝沿い巨大地震モデルにおける津波想定に係る住民説明会などについて市長から報道機関にお知らせしました。

□ 記者との質疑応答

記者：日本海溝・千島海溝沿い巨大地震モデルにおける津波想定に係る住民説明会は内閣府の職員による説明を求めていると思うがどうか。

市：内閣府からは出席できないということであり、市の担当者が説明する。

記者：津波浸水被害は、満潮時の想定と条件を多角的に加味したパターンが2つあるが、説明会での資料はどちらを用いるか。

市：両方のパターンにより説明する。現在、岩手県でシミュレーションをしているので、それに基づき、市の対応策も考えたい。市民の皆さんは不安に感じていると思うので、ご意見や質問をいただきたい。

記者：津波に係る指定避難場所の見直しを説明するようだが、具体的には想定している箇所があるか。

市：地域の声を聞いたうえで、県のシミュレーションをみて見直したい。

記者：成人式は開催の予定だが、他の自治体では中止の決断をしたところもある。

市：式典は、最低限の事項を行い、時間短縮を図り実施する。成人式実行委員会の意向調査も行ったが、開催してほしいという意見が多数だった。理美容組合からも感染者の来店を心配している話もあった。一生に一度の機会なので成人式の開催したい考えである。参加予定の半数以上は、市外滞在者であるので、体調管理をしっかり行ってもらい、当日の受付で体温や健康状態のチェックを徹底したい。

記者：成人式が中止となる場合の基準はあるか。成人者にPCR検査を義務付けるなど検討したか。

市：中止の判断は、一律に考えるのではなく柔軟に検討したい。

PCRの検査について検討したが、成人者に個人負担で検査するのは求めないこととした。

成人者には事前の2週間の体調の経過を当日提出していただくこととしているので、それをみてチェックする。

記者：当日の対応などの案内や注意は促しているのか。

市：保護者には密にならないように会場に入らないようお願いしている。

- 記者 : 白樺再生事業勉強会の参加対象は。
- 市 : まずは市の職員の勉強会としたい。その後、企業や民間からも加わってほしい。
- 記者 : 白樺の植樹については、新規の維持管理事業など予定しているか。
- 市 : 現在は、ボランティアによる植樹を行っている。白樺は久慈市にとっては、大事な観光資源であるので、大規模に計画的に植樹をしなければならない。事業費も組む必要がある。
- 記者 : 白樺は植林でなく種から増えていくもので、他種類の木を伐採すると増えると聞いたことがある。
- 市 : 講師からは白樺が育つ環境についても説明がある。
- 記者 : 廃校を活用して、テレワークができる場所の提供をしている自治体があると報道で見たが、久慈市では取組みがあるか。
- 市 : 市民や当事者に還元できるようコロナ対策の交付金を活用しているため、現在テレワークができる環境づくりに向けて取組みを行っていないが、追加の財源があれば、企業誘致もできることから検討したい。